

食育だより1月



練馬区立豊玉第二中学校

あけましておめでとうございます。今年もどうぞよろしくお願いたします。年末年始は楽しく過ごすことができましたか。いつもの年より少し長い冬休みでしたね。早寝・早起き朝ごはんを心がけて生活のリズムを早く普段の生活に戻しましょう。寒さもこれから一段と本格的になります。手洗い・アルコール消毒など徹底して元気に過ごしましょう。

3年生は本格的な受験期に入り体調管理が一段と大切になってきます。心も身体もしっかりと対応できるように過ごしましょう。

全国学校給食週間です!

1月24～30日までの1週間は「全国学校給食週間」です。学校給食は、明治22（1889）年に山形県鶴岡市で初めて実施されて以来、各地に広がりましたが、戦争のため中断されました。戦後、食糧難による子どもの栄養状態の悪化を背景に、給食実施の必要性が指摘され、世界からも給食用物資の寄贈がありました。



そして昭和22（1947）年、ついに学校給食は再開されたのです。

世界からの善意に感謝の気持ちをあらためて示すとともに、学校給食が戦後再びスタートできたことの意義を考え、その発展を期し、また日本の学校給食の一番の特徴といえる教育の一環として給食が行われていることを、子どもたちだけでなく学校関係者全員があらためて再確認する意味でも、この「全国学校給食週間」の取り組みを大切にしたいと思います。子どもたちの食生活を取り巻く環境が変化し、塩分のとりすぎ、肥満傾向や逆に若年女性のやせなどが懸念されている今日、学校給食は子どもたちが食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けるためにとても重要な役割を果たしています。

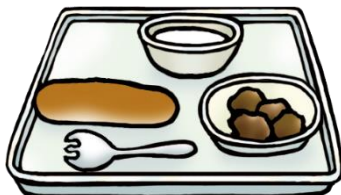
学校給食の原風景

昭和の給食

全国学校給食週間とは、学校給食の意義や役割について理解と関心を高め、学校給食のより一層の充実と発展を図ることを目的に行われています。全国各地で学校給食に関するさまざまな行事が企画されています。ここでは昔なつかしい昭和の給食メニューを紹介します。



昭和30年代



パンが主食で、脱脂粉乳をお湯に溶いて作るミルクとおかず一品という献立が多かったようです。くじら肉もよく登場しました。先割れスプーンで食べました。

昭和40年代



パンに合わせた洋風メニューがよく出ました。飲み物も牛乳に変わり、学校給食用の個包装チーズも作られ、乳製品が家庭に普及するきっかけにもなりました。

昭和50年代



米飯給食が始まりました。カレーライスが食べられるようになり、肉じゃがなどの和食も出るようになって、内容がとても豊かになりました。はしも使われるようになりました。